



東 日々新新聞

九百十二號



一萬齋  
芳幾

武州秩父郡芳幾  
久保村の農何某の沙魚と取らんと  
網と獲へ七歳に成りし兒と連  
て溪川に臨み小兒と川岸に遊ばせ置  
已まぬ網を打ら入して彼方此方と漁を  
しつ歩行しは忽ち聲を  
揚げてアレスと採や蛇が坊と食  
ふよと叫ぶ之駭け附け見まへ小桶  
程の蟒の後の山より蛇の  
既よ吾と九吞と

△  
せんとする勢ひあるを側より有  
合ふ杉の花木と取り取りて極めてド  
打てハ蟒ハ忽ち草木を推し分け  
後の山へ逃げ隠れ此の小兒は何の  
替り事もなく其父も頗ふ事  
を絶えたりしと此の  
細打の膳の太き男なり

具足屋  
ホリ栄

